

被災地支援研修会レポート

豊島市場



バス車内での研修DVD

実施日 平成 24 年 11 月 14 日
参加者 24 名
日 程 7:00 豊島市場出発
11:00 J A 全農福島にて意見交換
12:30 J A 全農福島農業技術センターにて
自主検査機器説明
13:15 福島県農業総合センターにて研修・
検査状況視察
19:00 豊島市場着



意見交換風景（J A 郡山市会館）

〈J A での意見交換会〉

○J A より自主検査の説明等

- ・単価で 23 年度比 92% に落ち込み
- ・直販所の売上は落ちておらず、県内では、安全性に関する消費者の理解は得られていると思っている。

○市場関係者からの主な意見

- ・生産者がこうした厳重な検査をしていることを、もっとマスコミ・消費者にアピールする必要があるのではないか。
- ・学校給食では、保護者からの要請で福島産が排除されている現実がある。行政レベルで各県教委に働きかけてほしい。



J A 全農福島農業技術センター

〈J A 全農福島農業技術センター〉

- ・青果物は作型別に当センターにて全品目を自主検査。
- ・NaI シンチレーション検出器を使用（測定下限 25Bq/kg）
- ・50 Bq/kg を超えたものは県農業総合センターにて測定

〈福島県農業総合センター〉

- ・ゲルマニウム半導体検出器を使用。野菜を刻んですりつぶすため、1 個の検査に数十分を要する。検査時に他の放射性物質が混ざらないよう、細心の注意を払っている。
- ・20 名を超える職員が検査に専従。曜日ごとに品目を分けている。
- ・検査結果はすべて県HPに掲載。検索も容易にするよう工夫